

県民の安心の  
拠り所となる  
病院であること

K o h a r u b i y o r i  
VOL. 63

# こはるびより

愛媛県立中央病院広報誌「小春日和」



4月から、当院で患者さんの看護にあたっている新人看護師です。

ぬくもりのある質の高い看護を提供するために尽力いたしますので、  
末永くよろしくお願いします。



## Index

- P1 新人看護師集合写真
- P2-3 専門看護師・認定看護師紹介
- P4 診療科紹介「血液内科」
- P5 ドクターズカルテ、研修医紹介
- P6 1年次研修医集合写真
- 医療安全管理部だより No.54
- P7 転入・転出医師 (2024.3.16 ~ 2024.5.31)
- P8 連携医療機関紹介～第34回～

ご自由にお持ち帰り下さい

【発行】愛媛県立中央病院 松山市春日町83番地  
TEL:089-947-1111 2024年5月31日発行



愛媛県立中央病院





# 専門看護師・認定看護師って

各専門分野で水準の高い看護が提供できると認められた看護師です。専門看護師・認定看護師は専門化が進む医療現場の中で、患者さん・ご家族に「より良い看護」を提供するため直接ケアを行い(実践)また、直接関わる医療者の支援(相談、指導、教育)もしています。

## がん看護専門看護師



患者さん・ご家族の「より良い療養」を  
共に考え、支援しています。

## がん化学療法看護認定看護師



患者さんが安心して治療を受けられるよう、  
がん化学療法薬の投与管理とセルフケア支援や  
意思決定支援を行っています。

## 緩和ケア認定看護師



患者さんの苦痛症状を緩和し、  
その人らしく過ごせるように  
ご家族を含めてケアを行っています。

## 乳がん看護認定看護師



乳がんの治療から終末期に至るまで  
患者さんとご家族がその人らしく生きるために  
支援をさせていただきます。

## 感染管理認定看護師



病院内で感染症の原因となる病原体が  
拡がらないよう、システムづくりや教育を  
行っています。

## 皮膚・排泄ケア認定看護師



創傷・ストーマ・失禁に関するケアを実践し、  
あなたの生活を支えるヒントをお伝えします。

## 救急看護認定看護師



救急で入院する患者さんに対して多職種と  
協働し早期に病状の安定化を図り、  
少しでも早く日常生活に戻れるよう  
看護を実践しています。

## 集中ケア認定看護師

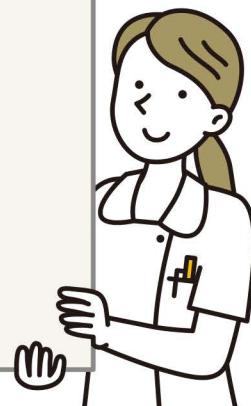


患者さんの状態が悪化せず、日常生活に  
戻れるように患者さんひとりひとりに合わせた  
看護を実践しています。

# どんな看護師か知っていますか？

この資格取得・継続のためには、①看護師として5年以上の実践経験と②専門分野を学び審査に合格すること、そして③5年ごとに資格更新をすることが求められます。

研鑽を積みながら患者さん・ご家族の支援にあたる当院の専門看護師1名、認定看護師25名の活動を紹介します。



クリティカルケア認定看護師



主に重症な方々に対して、少しでも早く元気になるようにお手伝いさせていただいています。

手術看護認定看護師



多職種と連携して、手術が安心・安全に受けられるように周手術期の場面からサポートさせていただきます。

新生児集中ケア認定看護師



新生児の重症化予防の看護実践を行い、発達を促すケアを行っています。

小児救急看護認定看護師



医療を受けるその子どもなりの成長発達を支えるために、急変時対応、虐待予防、育児支援などを中心に活動しています。

摂食嚥下障害看護認定看護師



低栄養や飲み込みに問題がある患者さんの看護について日々検討し実践しています。



認知症看護認定看護師



認知症のある患者さんがもてる力を発揮でき、その人らしく療養生活を送れるように支援する活動を行っています。

糖尿病看護認定看護師



糖尿病を持つ患者さんがその人らしい生活を送ることができるよう、療養支援やフットケア等を行っています。

慢性心不全看護認定看護師



心不全患者さんが疾患を抱えながらもその人らしい生活が送れるように療養生活を支援しています。

## 診療科紹介 血液内科



血液内科では、血液の白血球・赤血球・血小板の異常の診断や治療を行っています。白血病・悪性リンパ腫・多発性骨髄腫・骨髄異形成症候群などの造血器腫瘍（血液のがん）を対象に、主に抗がん剤で治療（化学療法）を行っています。通常の化学療法だけでは治癒の難しい場合、造血細胞移植（一般的には骨髄移植として知られています）を行う事もあります。

当院の血液内科は、今から40年前の1984年に原雅道先生が赴任し、医師1人で始まりました。患者さんが他県に行かなくても、当院で全ての血液疾患の治療が完結できる体制を目指し、当科では1989年から血縁者（主にきょうだい）間骨髄移植を開始しました。その後、1993年に骨髄移植推進財団（現日本骨髄バンク）の骨髄移植および骨髄採取の認定を受け、非血縁者間（骨髄バンクを介した他人からの）骨髄移植を開始しています。1996年に血縁者間末梢血幹細胞移植、2001年にさい帯血移植と、移植方法を増やして、より多くの患者さんが造血細胞移植の恩恵を受けられるよう体制を整備してきました。2013年に現在の新病棟が完成して、無菌室が10床から24床に増え、より安全に移植を行える環境となりました。そして、2015年には厚生労働省から、四国唯一の造血幹細胞移植推進拠点病院に認定されています。



◀骨髄採取の様子



造血幹細胞移植  
推進拠点病院  
HP

医師1人で始まった血液内科も、2024年4月現在、常勤医7名、専攻医4名の合計11名が在籍する大所帯となりました。血液内科の医師だけでは血液疾患の治療は出来ず、歯科医師、看護師、薬剤師、理学療法士、管理栄養士などの多職種と共にチームを形成し、それぞれの職種の専門性を生かし、質の高い治療が血液疾患の患者さんに提供できるよう、日々努力しています。



# ドクターズカルテ

Doctor

脳神経外科 古川 浩次医師

脳卒中センター脳神経外科の古川浩次と申します。出身は西予市宇和町です。愛媛大学を卒業後、愛媛県内で脳神経外科の診療に従事し、2021年より当院に勤務しています。

専門は脳血管内治療（カテーテル治療）ですが、当院赴任後は脳腫瘍や脳動静脈奇形、三叉神経痛などに対する定位放射線治療（ガンマナイフ）にも携わっています。患者さんに対し、より低侵襲な治療を心がけておりますので、お気軽にご相談ください。

私生活では、多忙を言い訳にサボり気味ですが、ランニング（マラソンやマスターズ陸上）、サイクリングを楽しんでいます。仕事も私生活もより充実させていきたいと思います。



▲脳卒中センターメンバー（左端）



▲石鎚山系瓶ヶ森線（通称UFOライン）でのサイクリング

## 当院の研修医を紹介します

2年次研修医 田島 麗医師  
Resident

### 仕事以外の過ごし方を教えてください。

休日は同期と一緒に遊びに行き、息抜きをしています。夏には流しうめんをしたり、冬はスノーボードに行ったりしました。また、仕事が早く終わった日には同期でよく飲みに行きます。

### 日頃気を付けていることは何ですか？

明るい職場の雰囲気作りに貢献できるように、元気一杯笑顔で仕事をすることを心掛けています。

### 今後の目標は何ですか？

もっと医師として成長できるよう勉学に励み、手技などの練習を積極的に行っていきたいと思っています。また、患者さんに寄り添い、同じ目線に立ち、なんでも相談できる親しみやすい存在になることを目標としています。そのため、普段から上の先生方の診察や患者さんへの向き合い方を見て学ぶことを心掛けています。



▲内視鏡のシミュレーション中



◀同期とスノーボードに行きました（左端）



# 令和6年度は、22名の研修医が 当院より医師としての第一歩を踏み出します。

末永くよろしくお願ひいたします。



No.54

医療安全管理部だより

## 患者さん・ご家族はチーム医療の一員です。

ひと昔前は、自分自身の病気であっても医療従事者にお任せするという患者さんも多かったように思います。しかし、現代の医療では常に患者さんが「主役」です。

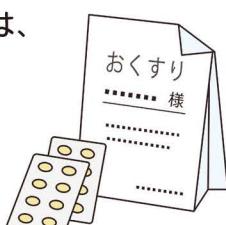
患者さんの視点に立ち、患者さんを中心とした医療を行うために、色々とお尋ねすることがあります。例えば、今後の治療に対する要望をお聞きすることで、チーム医療の中の「医療者」（医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・理学療法士・医療ソーシャルワーカーなど）がみんなで連携を取り、患者さん・ご家族をサポートしています。そして、安心・安全な医療の提供のため、事故防止・安全管理の徹底に取り組んでいます。しかしながら、医療事故はなかなかならないのが現実です。

チーム医療は医療従事者だけが行うものではなく、患者さん・ご家族も一員であり、患者さんは「主役」です。患者さんも安全な医療を提供することの役割を担っていただくことが「医療安全の鍵」となります。

今すぐにできることとして、次の5つが挙げられます。

- ①医療行為を受けるたび、ご自分の名前をフルネームで名乗ってください。
- ②渡された薬は、ご自分の名前が書かれているかをご確認ください。
- ③薬を飲む前は、いつ飲むのか、何の薬かをご確認ください。
- ④医療者の言っていることが分からぬ時は、悩まず、お気軽に質問してください。
- ⑤ご自分の身体状況や、すでに飲んでいる薬があれば医療者にお伝えください。

ご協力をよろしくお願いいたします。





## 転入・転出医師 (2024.3.16~2024.5.31)

▶ 転入

所属	氏名	専門
産婦人科	中橋 一嘉	産婦人科一般
産婦人科	西野 由衣	産婦人科一般
新生児内科	木内 拓海	新生児集中治療
新生児内科	徳本 大起	専攻医
小児科	越智 史博	小児感染症、小児一般・保健
小児科	浮田 葉	専攻医
小児外科	古賀 翔馬	小児外科一般
腎臓内科	鈴木 紗代	腎疾患全般、血液浄化療法
腎臓内科	平田 隆	専攻医
腎臓内科	菱田 佑輔	専攻医
泌尿器科	小山 花南江	小児泌尿器科
泌尿器科	橋本 啓佑	泌尿器一般
糖尿病・内分泌内科	岡本 全史	糖尿病・内分泌代謝疾患
消化器内科	中村 綾花	専攻医
消化器内科	村川 和也	専攻医
消化器内科	木村 優伽	専攻医
消化器外科	松野 裕介	消化器外科全般
消化器外科	永岡 智之	消化器外科全般
消化器外科	岩川 陽介	消化器外科全般
消化器外科	中城 裕二	専攻医
消化器外科	鳥谷 僖	専攻医
呼吸器内科	濱田 徹	呼吸器疾患全般
呼吸器内科	相原 健人	専攻医
呼吸器内科	宗石 翔	専攻医
呼吸器内科	切土 博仁	専攻医
血液内科	諫見 俊宏	専攻医
血液内科	宗石 愛花	専攻医
血液内科	土居 優希	専攻医
乳腺・内分泌外科	宇都宮 果歩	乳腺
放射線科	窪田 光	放射線治療全般
放射線科	大川 笑麗	画像診断全般、心臓核医学
放射線科	宇田 晃一郎	専攻医
脳神経外科	金久 浩大	専攻医
循環器内科	田丸屋 麟太郎	循環器全般
循環器内科	香西 祐樹	循環器全般
循環器内科	小林 侑司	専攻医
循環器内科	日野 華子	専攻医
循環器内科	日野 祥子	専攻医
循環器内科	宋 知樹	専攻医
整形外科	下野 雄大	専攻医
眼科	近藤 元史	白内障、眼科一般
皮膚科	松本 麻由	皮膚疾患全般
総合診療科	野間 章裕	内科一般
総合診療科	吉田 晉	内科一般、脳神経内科一般
総合診療科	青木 良平	内科一般

▶ 転出

所属	氏名
救急科	斎藤 美瑛
新生児内科	竹本 隼
小児科	青井 秀人
小児科	杉 海秀
小児外科	宮寄 航
腎臓内科	山口 純代
泌尿器科	山師 定
泌尿器科	瀬戸 太介
糖尿病・内分泌内科	渡部 杏子
消化器内科	實藤 洋伸
消化器内科	柳原 映美
消化器内科	中谷 康輔
消化器外科	大野 拓也
消化器外科	佐藤 公一
消化器外科	上野 義智
消化器外科	武原 悠花子
消化器外科	五葉 海
呼吸器内科	森高 智典
呼吸器内科	近藤 晴香
呼吸器内科	水口 吉晃
感染症内科	鶴田 寛二
血液内科	肥山 隆一郎
乳腺・内分泌外科	佐川 庸
放射線科	鶴岡 幸太
放射線科	牧田 憲二
放射線科	小林 彩
放射線科	大原 健太郎
脳神経外科	大塚 祥浩
循環器内科	田中 祐太
整形外科	今井 麻央
眼科	坂井 大五
形成外科・顎顔面外科	土居 未歩
皮膚科	岩田 麻里
総合診療科	青木 一成
総合診療科	川寄 美智子



# 連携医療機関紹介～第34回～

## 芝内科消化器内科医院

- 所在地 松山市余戸東4丁目3-5
- TEL 089-973-4811 ■FAX 089-973-4812
- 診療科目 内科・消化器内科
- 外来診療時間 休診日 木曜・日曜・祝日

	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:00	○	○	○	×	○	○	×
13:30～18:30	○	○	○	×	○	△ 18:00まで	×

**【病院の概要】**松山市余戸に2023年7月より移転開院した内科です。以前、小栗で44年間診療しておりました。伊予鉄道郡中線「余戸駅」より徒歩1分の場所にあります。消化器疾患を中心に、高血圧・高脂血症・糖尿病・感冒など、内科一般診療と広く痛みに対する治療を行っております。

**【病院の特徴】**広島県のリウマチ膠原病専門病院で働いていた経験を活かし、両膝・両肩へのヒアルロン酸関節注射や、両肩・腰へのネオビタカイン局部注射など、痛みに対する治療も行っております。あと、腹部・頸部・乳房などの超音波検査にも力を入れております。糖尿病診療におきましては、当日に検査結果を説明できるようにしております。土曜午後は診療時間を18:00までとしております。



## 医療法人 上田小児科医院

- 所在地 松山市居相4丁目22-1
- TEL 089-956-8011 ■FAX 089-956-6777
- 診療科目 小児科
- 外来診療時間 休診日 水曜午後・日曜・祝日

	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	×
15:00～18:00	○	○	×	○	○	△ 14:00～16:00	×

※健診・予防接種（予約制）：月曜・火曜・木曜・金曜の14:00～15:00

**【病院の概要】**当医院は椿神社の南側に位置しており、2004年5月に父の医院を継承しました。駐車場は3か所あり、合計21台駐車可能です。

**【病院の特徴】**当医院では医療者として医療を行うことはもちろん、子育て支援も行い、お子様とご家族に対して優しい医院でありたいと思っています。医師2名で診療しているため、患者様の状態をよく観察し、しっかり話をうかがうよう心掛けています。また、体調が悪い時にすぐ受診できるよう、健診・予防接種以外は予約制ではなく、来院受付順としています。感染症をはじめとする小児科全般の疾患に対応しておりますが、精密検査や入院が必要な場合は県立中央病院などの基幹病院に紹介しています。患者様が気軽に相談でき、頼りにしていただける診療を今後も続けたいと思います。



当院は、2010年10月29日に「地域医療支援病院」の承認を受けています。このコーナーでは、紹介・逆紹介によって連携している医療機関を随时ご紹介させていただきます。（紹介順序につきましては、順不同ですのでご了承ください。）

